令和6年度 東海農政局所管農業農村整備事業優良工事等受注者表彰 対象工事等の概要

【工事】

<u> </u>		
地区名	矢作川総合第二期地区	
工事名	矢作川総合第二期地区 明治本流(下流部)耐震化対策 里・浜屋工区その3-1工事	ン
施工場所	愛知県安城市里町地内	側り
工事の概要		<i>,</i> ,
受注者	日本国土開発㈱名古屋支店	<u>ク</u> る
契約額	266, 090千円	^
工期	R5.6.19 ~ R6.3.29	後
矢作川総合	第二期土地改良事業計画に基づ	丌

矢作川総合第二期土地改良事業計画に基づ き、明治本流水路の改修を実施。

施工延長 L=96.000m

鉄筋コンクリート現場打ち2連ボックスカルバート (左岸側・B3.m2×H3.2m)

付帯工 一式

表彰の理由 と窓の対象化を日めに既認函復の左岸修

本工事は明治本流水路の耐震化を目的に既設函渠の左岸側を鉄筋コンクリート現場打ちボックスカルバートに改築する工事である。

工事に当たっては、工事期間中の必要用水量 (4~5 m3/s) を<u>右岸側で通水しての狭小空間での施工に加え、民家や樹園地が隣接</u>しており周辺の環境への配慮も必要であった。

このような現場条件の中で函体工の埋戻における<u>3転ダンプトラックの導入</u>による狭小空間への対応、<u>オレンジネット仮囲いの設</u>置による作業区域の明確化による住民等の迷入防止、樹園地と工事用道路境への<u>防草シートの設置</u>など適切な周辺への配慮が行われた。

施工・品質面においては、暫定取付け工に用いる<u>鋼製異形管の切断後の溶接部にジョイントコートを設置</u>し防食効果を向上させ漏水を防止したことや、隣接他工事と共用する進入路の使用について<u>主体的に綿密な工程等の調整</u>を図り効率的な施工が行われた。

安全面では<u>架空線の支線(引っ張り線)にも保護管を設置</u>し公衆災害の防止を図った。

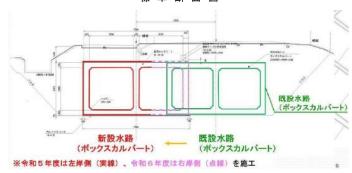
以上のとおり、本工事はその成果が優良で、他の模範となるものであるので、優良工事として表彰する。

施工状況等

平面図



標準断面図



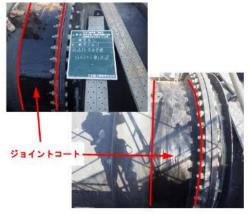
オレンジネット・防草シートによる周辺への配慮



3転ダンプトラックによる埋戻土の投入



ジョイントコートによる防食対策



支線への保護管設置

